

環境対応技術の継続と革新



取締役 常務執行役員

寺尾 修

「DNTコーティング技報」は2001年初刊を発行し、以来一貫して環境対応に関する塗料の新技术を掲載し続け、本年で発刊10周年を迎えました。この間当誌をご愛読戴き、また貴重なご意見を賜り誠に有り難うございます。

昨年2009年には当社創立80周年を迎え環境対応商品の開発を更に促進致しました。その結果、現在では水系塗料への転換は当然のことながら、ゼロVOC塗料、弱溶剤ハイソリッド塗料、キシレン・トルエン・重金属フリー塗料等、当社が販売する全ての塗料に対して環境対応商品を備えることが出来ました。これに関する商品開発としては一つの区切りの時期を迎えたとはいえ、国内における化審法の改正やEUでのREACH対象物質の追加をはじめ、化学物質に対する規制は世界的に強化される傾向にあり、当該技術開発の継続並びに規制物質の非含有を証明する技術も益々必要とされます。加えて、先進国だけでなく全世界の42%の人口を有するBRICs諸国の経済発展にも起因するCO₂による温暖化の回避は喫緊の課題であり、地球環境保全に対し世界的な取り組みが継続されております。我が国も「温室効果ガスを1990年比で2020年までに25%削減することを目指す」と国連で表明しており、また直近では中国の環境への対応も従来と趣を異にし、豊富な資産をこれに投入する方向もみられます。このことを鑑みれば「省エネ・省資源」や「省力化・高機能化」に関わるさらなる技術革新を行い、かつグローバルに展開することがメーカーとしての責務であり、当社も所謂「環境保全」から積極的な「環境貢献」を目指し、塗料のみならずナノテクノロジー関連商品等、環境サポート材料の開発も強力に推し進める所存でございます。「十年一昔」という言葉が不適當と言わざるを得ない変化の激しい時代に、タイムリーな商品対応ができるか否かが企業の行く末を決めることはいうまでもありません。本年度は上記の観点から技術開発体制を一新し、個性ある商品開発に日々邁進しております。今後ともよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

「DNTコーティング技報」第10報につきましては「環境・省工程・高耐久性」をキーワードに技術活動と商品展開の一端を紹介させて戴きます。日頃ご愛顧戴いております皆様に環境を重視する当社の技術開発姿勢をご理解戴き、僅かでもお役立ていただければ幸甚に存じます。

平成22年10月